

合格目指し勉強“まい”進 内陸線協議会 受験生へ「祈願米」



秋田内陸線の沿線自治体などで行われる秋田内陸地域公共交通連携協議会は、田んぼアートから収穫した「合格祈願米」を、北秋田、仙北両市の中学3年生ら約3500人に贈った。北秋田市役所阿仁庁舎で贈呈式が行われ、受験生代表に手渡してエールを送った。

田んぼアートは2024年度、沿線5カ所で実施。秋田犬や上檜木内の紙風船上げ、人気アニメ「クレヨンしんちゃん」の主人公・野原しんのすけ（しんちゃん）などを浮かび上がらせた。合格祈願米は北秋田市の縄文小ヶ田駅前の田んぼアートで使った後に収穫した「あきたこまち」。1人に2合ずつ贈った。

贈呈式は24日に開かれ、約20人が出席。内陸線を運行する秋田内陸縦貫鉄道の吉田裕幸社長は「田んぼアートは地域住民が支えてきた大切な宝。合格祈願米を食べ、残り少ない中学校時代を悔いなく過ごして」と受験生を応援した。北秋田市の阿仁学園9年の荒川遥菜さんと仙北市の檜木内中学校3年の門脇颯大さんが、吉田社長から合格祈願米を受け取った。

荒川さんは「コメだけに勉強に『まい』進し、幸運が舞い込むよう集中したい」、門脇さんは「夜食べて勉強に臨みたい。受験勉強のエネルギーに変えて合格を目指す」と話した。

合格祈願米の贈呈は、沿線に住む高校受験生を応援し、進学後の通学に内陸線を利用してもらおうと、23年から実施している。（石塚佳治）

（令和7年2月1日(土)秋田魁新聞より一部抜粋）